

のびのび学習だより

「のびゆく子ども」(通知表)について



今年度も1・2学期は、個別懇談会にて通知表をお渡しする予定をしております。
お子さんのがんばったところを認め、はげますための材料としてご活用ください。

2020年度から始まった新学習指導要領には、学校で学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、明日に、その先の人生につながってほしい、これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい という願いが込められています。

本校でも、学習指導要領の改訂にともない、3観点(①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度)による評価をしています。

(※ただし、国語科においては、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」など言語活動にそった6観点)

1. 知識・技能

知識を暗記するだけでなく、その意味を理解し、習得すべき技能も身に付けているか

2. 思考・判断・表現

知識・技能を活用しながら、さらにその先を自分なりに考え情報の真偽などを判断し、考えたことをわかりやすく人に伝えるために表現する力が付いているか

3. 主体的に学習に取り組む態度

知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けて、自らの目標を持って「粘り強く取り組む態度」と「自らの学習をより良く調整しながら学ぼうとする態度」が身に付いているか

学習のようす

教科のねらいが、どれくらい達成できたのかを表しています。評価は、「よくできる」「できる」「がんばろう」の3段階(1年1学期は2段階)で表します。

○の数を数えて一喜一憂するのではなく、「よくできる」や「できる」のついた項目を、理解し、がんばったこととしてほめてください。

生活のようす

学校生活で見られる子どもの様子から、「よくできる」ことに○印を、「もう少し努力をしてほしい」ことに△印をつけています。○や△の数は子どもによって多少異なります。この欄も、○や△の増減にとらわれず、○のついた項目に対するがんばりを認めてください。

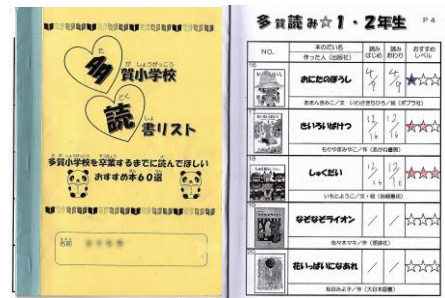
夏休み親子読書～『読むこと』を楽しもう～

今年の夏休みも、家庭での読書の時間を少しでも増やしていただけたらと『親子読書』の取組を予定しています。（後日お便り配布いたします。）

取り組み方は、親子で一緒に読書タイム、親から子どもに読み聞かせ、子どもから親に読み聞かせ、親子で同じ本を読み感想交流など・・・様々な方法が考えられます。

読み聞かせをすればたちまち本に親しむというわけではありませんが、本を読み、聞く時間が「温かくて気持ちがいい」と感じ、お話を楽しむうちに、文章を読み取ることが面白いと感じ取れるようになります。根気強く時間を重ねなければなりません。そして、何より楽しくないと続きません。

この夏、『親子読書』が楽しい親子の触れ合いの時間となりますようご協力お願いいたします。



多賀小 多読リスト

夏休みには、『多読リスト』を持ち帰ります。夏休みの読書の参考にしてください。

夏休みは事前の準備・計画が大切

いよいよ長い夏休みが始まります。充実したものにするために、夏休みがスタートする前に、学習面・生活面の目標を親子で話し合いながら決めましょう。1週間分の目標を決め、1週間ごとに計画の見直しをするのもおすすめです。長いスパンで計画を立てることは難しいですが1週間程度なら子どもも見通しが持ちやすいです。また、親子で取り組むことで子ども自身に計画を立てるコツが身についていきます。宿題とともに1学期のテストやプリントの見直しから復習をし、苦手や弱点の克服をしていくことが大切です。また自分の「好き」や「得意」をのぼすために、夏休みだからこそできる目標も考えてみましょう。

忙しい中ではありますが、親子のコミュニケーションの時間を大切に、充実した夏休みをお過ごしください。

小プール



6月中旬から始まった水泳学習で各学年のめあてに沿って学習を行うことができました。また、暑い中、多くの水泳監視ボランティアの皆様が子どもたちの安全を見守って下さいました。おかげさまで無事に水泳学習を終えることができました。ありがとうございました。

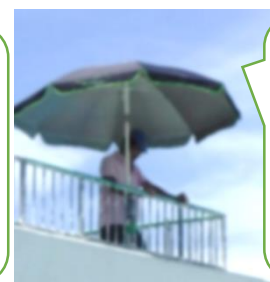
大プール



多賀小名物のシャワーもバッチリ浴びました。



暑中、見守りありがとうございました。



『水泳学習』

2学期以降も、ゲストティーチャーや学習支援ボランティアの皆様にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。